

グループ名 ・代表者名	玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める 裁判の会 石丸 初美	助成金額	40万円
連絡先など	saiban.jimukyoku@gmail.com		
助成のテーマ	玄海原発事故時における自治体の避難計画の実効性の検証		

【調査研究・研修の概要】

佐賀県内（10市10町）の内、30キロ圏内で避難元となる3市町（玄海町、唐津市、伊万里市）と避難受入先となる残りの全17市町の避難計画についてアンケート・聞き取り調査することから始め、福祉施設、病院、学校等への聞き取り、避難訓練見学など、現場で見聞することを重視した。

結果、以下のような具体的な問題点を明らかにすることができた

1. 避難先は“ぎゅうぎゅう詰め”の過密状態。たとえば太良町は人口の約8割にあたる7,644人もの伊万里市民が避難してくる。また、施設の収容可能人数は1人2㎡で単純計算され、イスが固定されたホールや階段まで面積に含めているケース、避難時の共有スペースを考慮していないケースが多々あった。
2. 避難元市町が「具体的なことは受入れ市町でやっていただく」と言う一方で、受入先ほとんど何も把握していなかった。
3. 避難元から避難先まで避難ルートを実地検証したが、楽観的な想定のものであった。
4. 放射能は風向きなどによって方向や距離に関係なく飛散するが、避難先・ルートが1つだけだったり、30キロ圏外の地域や市町は避難計画をつくらないなど、福島の実現をおよそ無視した計画となっていた。

【調査研究・研修の経過】

- ・2014年4月14日 佐賀市に避難計画質問要請書提出、調査開始
(以後、佐賀県内全20市町すべて面談。福岡県16市町に同様の質問要請書提出)
- ・5月19日 過密避難問題で記者会見（佐賀県庁）
- ・6月9日 佐賀県知事へ避難計画で質問・要請書提出（12月20日、2月25日も）
- ・6月14-16、29日、7月1日、10月2～5日 鹿児島県の避難問題学習会・調査に同行・参加
- ・2015年1月24日 原子力防災訓練見学
- ・2月25日 佐賀県知事へ質問要請、危険区域問題で記者会見



【今後の展望など】

- ・避難所の受入体制、要援護者、スクリーニング、屋内退避、離島避難等々、引き続き具体的な問題点を住民とともに明らかにしていきたい。自治体が住民の命を守れない避難計画の下では再稼働に同意できないという意志表明をするように、働きかけを強めていきたい。
- ・調査によって、計画の不備が見直されていくことは必要なことだが、福島の実現を踏まえれば、放射能被曝から住民を完全に守ることなど不可能である。この間の成果や連携の輪を活かして、今後さらに避難計画の検証を進め、原発再稼働を阻止する世論づくりに励みたい。

会計報告書の概要（金額単位：千円）			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費・滞在費	ガソリン代・高速代	104	100		4
研修参加費	鹿児島・東京交通費	255	146		109
資料費	書籍代	2	2		
印刷費	講演会資料、チラシ印刷・紙代等	97	97		
協力者謝礼等	講師謝礼交通費	50	50		
運営経費	講演会会場費	5	5		
合 計		513	400		113

参考文献（ウェブサイトや書籍、成果物など）

- ・玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会 <http://saga-genkai.jimdo.com/>

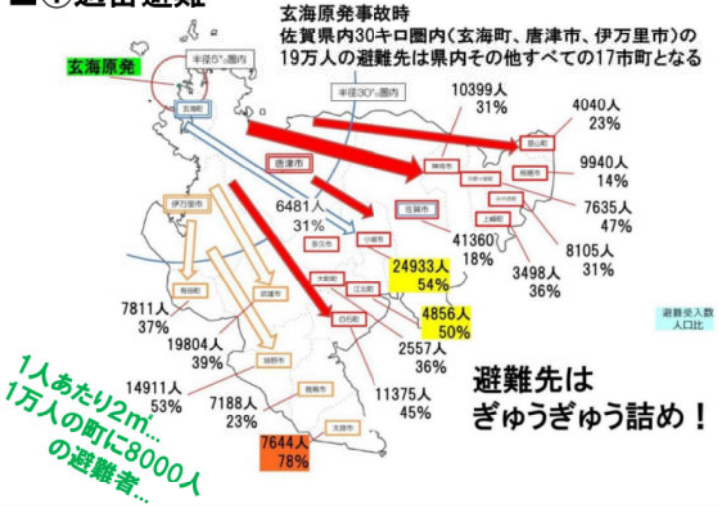
玄海原発事故時における自治体の避難計画の実効性の検証



2015年7月18日

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
代表 石丸初美 発表者 永野浩二

① 過密避難



■ 調査研究のねらいと主な活動

玄海原発30キロ圏内=避難計画策定を義務付けられた。
人口26万人(佐賀県19万人、長崎県51000人、福岡県15000人)
住民の命を被ばくから守るための計画になっているのか検証
実効性のある避難計画がなければ、再稼働は認められない!

- 佐賀県の全10市10町の避難計画 アンケート・聞き取り調査
避難元 3市町(玄海町、唐津市、伊万里市)
避難受入先残りの 全17市町
- 避難所や経路の検証、福祉施設・病院・学校等訪問
- 川内再稼働で揺れる鹿児島での調査
市民団体による政府交渉などに参加
- 広報活動、自治体・議会ロビー活動



■ ② 何も知らない受入市町 ④ 風向き・距離

- 受入人数、要援護者、スクリーニング、避難期間など把握していなかった←**県が数を割り振っただけ**
- 放射能は方向・距離に関係なく飛散するが、**自市の避難は?**
「国・県の計画で避難は30キロ圏。その方針を乗り越えられない」

「7000人避難」太良町困惑
事故時 市民団体質問書に
佐賀新聞2014年5月24日

佐賀県太良町は20日、九〇〇〇〇人、玄海町、唐津市、伊万里市の事故を想定した避難計画を基に2013年、伊万里市などから、太良町に避難する住民が約七〇〇〇人、伊万里市に約七〇〇〇人、唐津市に約七〇〇〇人、佐賀県内に約七〇〇〇人、合計約二万七千七百七十七人(二万七千七百七十七人)に相当する約七〇〇〇人を、伊万里市から受け入れる計画が、(受け入れ)人口に占める割合は約二割に達する。市民団体は具体的な受け入れ先や要援護者への配慮、除染方法などについて、町長に「一転、岩島町の町長は「一転、岩島町の町長は「一転、岩島町の町長は」

「7000人避難」太良町困惑
事故時 市民団体質問書に
佐賀新聞2014年5月24日

「7000人避難」太良町困惑
事故時 市民団体質問書に
佐賀新聞2014年5月24日

■ 市町・施設等の訪問・調査で見えてきた問題点

- ① 避難先は「ぎゅうぎゅう詰め」の過密状態
- ② 具体的には何も知らない受入市町
- ③ 避難ルートは確保されるか
- ④ 風向きや距離の問題
- ⑤ 手抜きスクリーニング
- ⑥ 「避難弱者」要援護者切り捨て
- ⑦ 複合災害 危険区域にある避難所/孤立集落
- ⑧ 最大の問題—福島原発事故の現実を踏まえていない



■ ③ 避難所・避難路の現地検証

- 伊万里市民受入先の太良町のホール (566席の固定イス)
- 唐津市～鳥栖市まで 64310人の避難ルート
- 集合場所は大混雑
交差点はデッドロック
急傾斜の土砂崩れ
橋の崩壊
冬場は道路凍結
ガソリンスタンド1カ所
スクリーニングポイント
=2万4000台通るのに
2000時間(8日間)



■⑤スクリーニング(放射能汚染検査)
放射能防御・拡散抑制のために絶対不可欠だが...



1月24日 佐賀県防災訓練にて(住民のご一部)

- ★国の基準値 = 120 Bq/cm² 超で除染が必要。法定「放射線管理区域外に物を持ち出す基準」4 Bq/cm²の**30倍**
- ★代表検査でOK、除染方法未定、大渋滞懸念...

■⑦複合災害
孤立集落



複合災害時
玄海原発30キロ圏内
66集落が孤立
佐賀県内では唐津市の29集落
救助ヘリ着陸スペース「なし」半分以上
食糧備蓄はすべてなし
福岡県糸島市の4集落

■⑥要援護者切り捨て

原発3キロの特養ホーム玄海園。
入所者100人。
玄海原発から風が吹いてくる。
「寝たきりがほとんど。経管栄養で移動困難」「職員にも家族があるし、職員確保が心配」



屋内退避で置き去りに

- ・放射線防御のダクト工事 (3億円)
- ・非常用発電機 (重油燃料3日間)
- ・食糧や医薬品は3日分の備蓄...

●避難訓練...職員が入所者役。玄関開放。自衛隊は前夜から待機



■⑧最大の問題

福島原発事故の現実を踏まえていない!

- 健康被害の実態、現在も十数万人が故郷に帰れない
放射能被害の現実を矮小化・無視
- 避難計画は福島原発の放射能放出量の100分の1の想定
- 5~30キロ圏内 空間放射線量が実測値で
 - ・500μSv/時 (1日以内に避難) <平常時0.05の**1万倍**>
 - ・20μSv/時 (一週間以内に避難)
 を超えたら避難。それまでは「屋内退避」...

⇒ 被ばく (強要) 計画!

■⑦複合災害 自然災害危険区域にある避難所



避難所が危険区域にある
県内全避難所538か所中
76か所(14%)

(避難元)
集合場所が危険区域にある
唐津市 174か所中
66か所(38%)

「避難所は安全な区域にあるのが大原則」

(2014年12月、唐津市総務部長市議会答弁)

■講演会・対外発表

- ・5月31日~6月2日 上岡直見講演会(佐賀市、伊万里市、福岡市)
上岡先生に避難計画の全体的な問題点をお話いただいた。
あわせて、佐賀県の避難計画について会から報告を行った
- ・7月21日 原発知っちょる会(福岡県飯塚市)にて報告
- ・8月24日 「避難計画を考える集いin鹿児島」にて報告
- ・9月1日 緑と環境プロジェクト(福岡市)にて報告
- ・10月25日 さよなら原発茅ヶ崎(神奈川県茅ヶ崎市)にて報告
- ・11月29日 被曝しない権利のための西日本集会(大阪市)にて報告
- ・12月2日 「12.2反プルサーマルの日行動」集会(唐津市)にて報告
- ・3月18日 大飯原発行政訴訟報告集会(大阪市)にて報告
他、小規模座談会等で随時報告



■広報活動、自治体・議会へのロビー活動

- 避難計画に関する行動を、新聞・テレビで20回報道
 - Facebook、ホームページ等ネットでの発信
 - 避難計画の実情を知らせるチラシ・資料の作成・配布
 - 佐賀県内市町を各2～3回訪問。
- 唐津市・伊万里市・佐賀市では連携した議員が一般質問



■全国や鹿児島と連携、情報共有

川内原発再稼働で最前線に立たされた鹿児島での避難現地調査や学習会への参加、全国の市民団体との情報共有や政府交渉参加などは有益で、佐賀での調査のベースとなった。



■市民へのチラシ(一例)

『玄海原発サマル雑誌ニュース第16号』より

原子力災害における避難計画

1人2㎡で算出した「1393人可能」の施設に1368人が避難。ぎゅうぎゅう詰め！

地域	No.	施設名	人口	男女	児童	高齢者	人口密度	避難場所	避難人数	備考
唐津市	1	八幡町	1,388	631	737	1,388	1,388	唐津市立第一中学校	1,267	221
	2	本町	265	120	145	265	265	唐津市立第二中学校	230	35
	3	南本町	284	172	211	189	284	唐津市立第三中学校	422	422
	4	南本町	1,263	526	737	1,263	1,263	唐津市立第四中学校	1,211	1,211
	5	佐志中道	103	52	51	103	103	唐津市立第五中学校	104	104
	6	佐志中道	469	227	242	469	469	唐津市立第六中学校	493	493
	7	佐志中道	297	153	144	297	297	唐津市立第七中学校	207	207
	8	佐志中道	183	97	86	183	183	唐津市立第八中学校	204	204
	9	佐志中道	102	49	53	102	102	唐津市立第九中学校	116	116
	10	佐志中道	143	71	72	143	143	唐津市立第十中学校	144	144
	11	佐志中道	123	61	62	123	123	唐津市立第十一中学校	127	127
	12	佐志中道	87	43	44	87	87	唐津市立第十二中学校	104	104
	13	佐志中道	162	80	82	162	162	唐津市立第十三中学校	166	166
	14	佐志中道	79	39	40	79	79	唐津市立第十四中学校	80	80
	15	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第十五中学校	1,208	1,208
	16	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第十六中学校	120	120
17	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第十七中学校	565	565	
18	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第十八中学校	2,301	2,301	
19	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第十九中学校	317	317	
20	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第二十中学校	323	323	
21	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第二十一中学校	1,208	1,208	
22	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第二十二中学校	120	120	
23	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第二十三中学校	565	565	
24	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第二十四中学校	2,301	2,301	
25	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第二十五中学校	317	317	
26	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第二十六中学校	323	323	
27	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第二十七中学校	1,208	1,208	
28	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第二十八中学校	120	120	
29	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第二十九中学校	565	565	
30	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第三十中学校	2,301	2,301	
31	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第三十一中学校	317	317	
32	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第三十二中学校	323	323	
33	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第三十三中学校	1,208	1,208	
34	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第三十四中学校	120	120	
35	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第三十五中学校	565	565	
36	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第三十六中学校	2,301	2,301	
37	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第三十七中学校	317	317	
38	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第三十八中学校	323	323	
39	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第三十九中学校	1,208	1,208	
40	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第四十中学校	120	120	
41	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第四十一中学校	565	565	
42	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第四十二中学校	2,301	2,301	
43	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第四十三中学校	317	317	
44	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第四十四中学校	323	323	
45	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第四十五中学校	1,208	1,208	
46	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第四十六中学校	120	120	
47	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第四十七中学校	565	565	
48	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第四十八中学校	2,301	2,301	
49	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第四十九中学校	317	317	
50	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第五十中学校	323	323	
51	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第五十一中学校	1,208	1,208	
52	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第五十二中学校	120	120	
53	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第五十三中学校	565	565	
54	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第五十四中学校	2,301	2,301	
55	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第五十五中学校	317	317	
56	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第五十六中学校	323	323	
57	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第五十七中学校	1,208	1,208	
58	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第五十八中学校	120	120	
59	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第五十九中学校	565	565	
60	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第六十中学校	2,301	2,301	
61	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第六十一中学校	317	317	
62	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第六十二中学校	323	323	
63	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第六十三中学校	1,208	1,208	
64	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第六十四中学校	120	120	
65	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第六十五中学校	565	565	
66	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第六十六中学校	2,301	2,301	
67	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第六十七中学校	317	317	
68	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第六十八中学校	323	323	
69	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第六十九中学校	1,208	1,208	
70	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第七十中学校	120	120	
71	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第七十一中学校	565	565	
72	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第七十二中学校	2,301	2,301	
73	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第七十三中学校	317	317	
74	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第七十四中学校	323	323	
75	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第七十五中学校	1,208	1,208	
76	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第七十六中学校	120	120	
77	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第七十七中学校	565	565	
78	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第七十八中学校	2,301	2,301	
79	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第七十九中学校	317	317	
80	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第八十中学校	323	323	
81	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第八十一中学校	1,208	1,208	
82	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第八十二中学校	120	120	
83	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第八十三中学校	565	565	
84	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第八十四中学校	2,301	2,301	
85	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第八十五中学校	317	317	
86	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第八十六中学校	323	323	
87	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第八十七中学校	1,208	1,208	
88	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第八十八中学校	120	120	
89	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第八十九中学校	565	565	
90	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第九十中学校	2,301	2,301	
91	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第九十一中学校	317	317	
92	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第九十二中学校	323	323	
93	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第九十三中学校	1,208	1,208	
94	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第九十四中学校	120	120	
95	佐志中道	547	266	281	547	547	唐津市立第九十五中学校	565	565	
96	佐志中道	2,094	1,045	1,049	2,094	2,094	唐津市立第九十六中学校	2,301	2,301	
97	佐志中道	302	148	154	302	302	唐津市立第九十七中学校	317	317	
98	佐志中道	308	149	159	308	308	唐津市立第九十八中学校	323	323	
99	佐志中道	1,047	496	551	1,047	1,047	唐津市立第九十九中学校	1,208	1,208	
100	佐志中道	114	54	60	114	114	唐津市立第一百中学校	120	120	

唐津市原子力災害における避難計画別紙3-2(全14ページ) 唐津地区(4) 全域が玄海原発30キロ圏内の唐津市。市民13万のうち志地域7094人の避難計画を紹介し、自分がどこの町のどうい場所かどう避難するか知っているでしょうか？

■今後の取り組み

- ◆自治体にとって避難計画を立てることは必要
- ◆原発の技術的問題より、自治体や市民にとって身近に取り組める課題



- 避難所受入体制、複合災害、要援護者、スクリーニング、ヨウ素剤、離島避難等々、引き続き検証
- 住民に近い市町村が、国・県まかせから脱却し、現実を直視して、住民の命を守る砦になるよう市民が行動する
- 被ばくを強要し、命を傷つける計画なら、再稼働反対！の世論を高める

■「みなさんの指摘が県を動かしたんです」～行政を動かした！～

「避難計画はワークする」(去年4月、古川・前佐賀県知事)
⇒本調査はまさに「ワークするか」の検証となった。

今年4月、伊万里市が受入先の広さや避難ルートに不備があったとして182地区中181地区(99%)で計画を見直し。机上の計画であったことを行政も認めた。

玄海原発事故時の避難先 伊万里市民9割変更へ

県と調整 基準の室内面積確保

佐賀県は、玄海原発の重宝の計画を修正し、避難先を不適切な部分から適当な部分に変更し、伊万里市に避難先を確保する計画を発表した。伊万里市は、避難先を確保するために、伊万里市に避難先を確保する計画を発表した。伊万里市は、避難先を確保するために、伊万里市に避難先を確保する計画を発表した。

佐賀新聞2015年3月18日

川内など「再稼働」の急展開、玄海MOX裁判不当判決(2015年3月20日)など、あわただしい中でしたが、「避難計画」を時宜に合ったテーマとして実践的な調査活動を進めることができました。玄海原発を止めるために、裁判と運動を「車の両輪」にして、運動面では引き続き避難計画に重点をおいて活動を進めていきます。貴基金の助成に感謝いたします。ありがとうございました。



命とふるさとを奪う原発いらない！
2015.3.20 MOX不当判決報告集会
あきらめない。勝利へ向けて。